

(第6条関係)

事業計画書

事業名	なつやすみアートひろば 事業
団体名	NPO 法人子どもっとまつど

取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)	<p>① 次代を担う子どもたちが豊かな感性や夢を育くむためにアーティストに出会いワクワクドキドキする体験と共有の場が松戸市内で限られているのが現状である。</p> <p>② 松戸市にゆかりのあるダンス、音楽、美術、書道、工芸等、様々なアーティストによる、言葉だけではない表現やコミュニケーション手法を体験するワークショップ開催することで新たな「出会い」「自分発見」「交流」の機会とする。</p> <p>③ また、孤立しがちな子育て環境の中で、プログラムの企画・運営をNPOや地域のボランティア団体と連携することで、子どもの育ちを地域で支えるネットワークづくりを目指す。</p>
事業の目的	<p>① 子どもたちが多様なアーティストとの交流・出会いを通して、多彩な表現や価値観を発見することを目指す。</p> <p>② 社会教育の拠点でもある公民館を中心に子どもたちの「アート体験」の場を子どもたちが参加しやすい夏休みに実施する。</p> <p>③ プログラムの企画・運営に携わる大人も、ともに楽しみ立場をこえて子どもとの関係を見直すなど、それぞれに気づきをもたらす機会とする。</p> <p>④ 子どもNPOがコーディネーターとなり、子ども会、学校、大学、地域のボランティア団体と連携し運営する。</p>
事業内容	<p>1 事業内容</p> <p>① 体験コーナー</p> <ul style="list-style-type: none">小学生が7つの体験ブースの中から事前の申し込みで参加ブースを選択し体験する。自身の体験の成果発表をすることと他の体験の発表会に参加することで体験の成果を共有する。保護者は成果発表会を参観することで子どもとの体験の共有をはかる。 <p>② 保護者と乳幼児のためのひろば</p> <ul style="list-style-type: none">引率の保護者が自分自身のための体験ブース参加する場の提供と幼児も楽しめるブースを地域のボランティア団体との協働でつくる。 <p>対 象 小学生</p> <p>定 員 各講座 15人~20人 (7講座を午前・午後同時開催)</p> <p>参加費 500円 (別途材料費)</p> <p>会 場 矢切公民館 ホール、会議室、講座室2 松戸市民活動サポートセンター多目的ルーム 会議室1、2</p> <p>実施体制 主催 NPO 法人子どもっとまつど 共催 松戸市教育委員会、 協力 NPO 法人松戸子育てサポートハーモニー NPO 法人 MamaCan</p>

2 スケジュール

	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
4月	第1回実行委員会開催 開催日、会場の検討	実行委員(個人、NPO、団体構成員) 子どもっとまつど事務所
5月	第2回実行委員会開催 教育委員会に共催申請 開催内容の決定	実行委員(個人、NPO、団体構成員) 子どもっとまつど事務所
6月	第3回実行委員会開催 チラシの内容の決定	実行委員(個人、NPO、団体構成員) 子どもっとまつど事務所
7月	第4回実行委員会開催 ボランティア説明会 会場下見	実行委員、当日ボランティア 矢切公民館、まつど市民活動サポ ートセンター
8月	第5回実行委員会開催 申し込み受け付け及び 当日に向けての作業	実行委員、団体構成員、ボランテ ィア 子どもっとまつど事務所
	「なつやすみアートひろ ば」開催	対象 小学生と保護者、幼児 矢切公民館、まつど市民活動サポ ートセンター
9月	振り返りの会 教育委員会共催実施報告 書提出	実行委員(個人、NPO、団体構成員) 子どもっとまつど事務所

既存の事業からステ
ップアップする部分
※ステップアップ助成
のみ

事業の目標

- ① この事業に参加した子どもたちから、「また参加したい」などより多くの生の声の回収をはかる。(インタビュー形式など)
- ② 申込から実施までの期間が長いいためか実施前のキャンセルが多い。受付の方法を工夫してキャンセルを減らすことで参加率のアップを図りたい。
- ③ 参加目標を定員の80%を目指す。
- ④ 事業の財政の自立を図る。たとえばチラシへの広告の掲載、参加率のアップ、実行委員会のブースを出店し財政活動を行うなど。

今後の展望

- ① 参加の希望が多いため講座数を増やすこと。将来的には2日間に渡って開催することなどを検討していきたい。
- ② 1, 2回目の実施をへてアーティストどうしの交流が生まれた。アーティスト間のコラボで、子どもを対象とした新たな事業を生み出したい。

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

科目		金額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 8,400	
	事業収入	¥ 110,000	参加費 500円*220人(7講座×午前・午後各1回の延べ人数220人)
	自己資金の合計額 (A)	¥ 118,400	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 218,400	

【支出】

科目		予算額	
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 140,000	外部講師謝金 20000円*7人
	消耗品	¥ 10,000	紙代 500円 PCインク代 5000円 文具他
	印刷製本費	¥ 25,000	チラシ印刷代 25000円 (15,000枚)
	食糧費	¥ 8,400	講師、助手 お弁当代 500円*14人 水代100円*14人
	委託料	¥ 10,000	チラシデザイン料
	保険料	¥ 5,000	リクレーション保険@10円*500人 (参加者の保護者を含む)
	対象経費の合計 (D)	¥ 198,400	
その他経費	食糧費	¥ 20,000	スタッフお弁当代 500円*40人
	その他経費の合計 (E)	¥ 20,000	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 218,400	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。